

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成26年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	TOY BOX

1 施設名等

施設名	長野県松本平広域公園	住所	松本市神林5300
		電話	0263-57-2211
		ホームページ	http://shinshu-skypark.net/t/index/index.asp

2 施設の概要

設置年月	平成6年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	競技スポーツゾーン	陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場	
	ターミナルゾーン	やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、触れる彫刻	
	ファミリースポーツゾーン	南管理棟、サイクルセンター、バターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ	
	野と花のゾーン	展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘、ドッグラン	
	花のプロムナードゾーン	バラ園、花木の小径	
	みどりのプロムナードゾーン	ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート	
みどりの交流ゾーン	総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、芝生広場、多目的広場、マレットゴルフ場		開園面積:141.6ha
利用料金	有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、バターゴルフ場等(施設により料金は異なる。)		
開所日	年中無休		
開所時間	8:30～22:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人長野県公園公社
平成18年度～20年度	指定管理	TOY BOX
平成21年度～25年度	指定管理	TOY BOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	TOY BOX	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成26年度(A)	平成25年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
396,778 千円	384,093 千円	12,685 千円	
		増減理由	消費税引上げ分、光熱水費の高騰による支出増加分等

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務
(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度(A)	51,366	114,669	113,132	73,923	46,792	73,852	175,813	74,844	14,553	16,542	14,343	53,082	822,911
平成25年度(B)	41,980	66,997	172,369	58,462	63,974	82,811	154,503	60,960	16,595	14,485	10,696	45,126	788,958
(A)/(B)	122.4	171.2	65.6	126.4	73.1	89.2	113.8	122.8	87.7	114.2	134.1	117.6	104.3
増減要因等	減少要因:改修工事による屋外施設の利用減(△14,000) 増加要因:アルウィンJ1・J2リーグ戦開催による増加(45,000※年度集計)												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度(A)	4,856	7,020	6,191	9,265	5,627	6,393	7,799	5,881	2,915	3,931	2,315	6,410	68,603
平成25年度(B)	4,665	5,582	8,944	5,387	6,752	7,375	7,655	5,029	2,988	2,638	2,030	4,593	63,638
(A)/(B)	104.1	125.8	69.2	172.0	83.3	86.7	101.9	116.9	97.6	149.0	114.0	139.6	107.8
増減要因等	減少要因:改修工事による屋外施設の利用減(△400千円)隔年イベント不開催年による減少(△2,500千円) 増加要因:H26利用料金改定による増加(2,300千円)アルウィンJ1・J2リーグ戦開催(5,100千円※年度集計)												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	消費税増税に伴う利用料金改定、陸上競技場役員室の利用料金設定(役員室のみの利用に限る)、庭球場の2時間枠設定

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成26年度(A):365日 平成25年度(B):365日	平成26年度(A):8:30~22:00 平成25年度(B):8:30~22:00	有	無

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・J2リーグ戦が円滑開催できるよう、チーム、県と連携を図り無事故でシーズンを終えることができた。 また、J1昇格に伴う諸々の課題についても県と協議の上で修繕等必要な対策を講じ、無事に開幕を迎えることができた。 ・年間を通してアルウインのスポーツターフ管理に注力し、低温期、酷暑期の使用を乗り切り、良好な芝生を維持することができJリーグより高評価をいただいた。 ・広報誌『スカイパーク通信』を毎月発行(9年間継続中)し、公園発の各種情報を広く地域の皆さまにお届けしている。 ・利用者の声に耳を傾け、不具合箇所などがあればスタッフ自ら調査し素早く修繕を行うDIM=Do It Myself 修繕を実施している。 ・DIM修繕は利用者サービスの向上と併せて、材料の直接購入、職員による施工などによりコストの縮減にも寄与している。 ・アルウイン無料開放イベントを県と協働し開催した。一般市民がアルウインの芝生に触れる良い機会となり、昨年に引き続き好評なイベントとなった。 ・きれいなところにポイ捨てはしにくいとの観点から園内清掃・美化に努め、利用者の意識付けを図った。 ・大連連休前や夏休み前にスタッフによる園外周辺道路の一斉清掃を行うことで県内外の利用者へのクリーンなイメージアップが図れた。

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカフェ信州などから、若年未就労者の就労体験受け入れを行い、利用者の笑顔に触れてもらうとともに仕事へのきっかけの場を提供できた。 ・スタッフブログをほぼ毎日更新するなどリアルタイムな情報発信を心掛けるとともに、メディアへの掲載等を積極的に依頼し、公園の認知度向上に努めた。 ・10km周回コースの名称を一般募集し、「信州スカイロード10」と決定した。親しみやすく、覚えやすい名称となり、複数メディアに取り上げてもらった。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> ・見通しの悪い園路でスピードを出す自転車がいる。→自動感知音声案内により危険箇所の喚起を行った。 ・大型イベント時の施設案内の距離表示がほしい→施設案内距離表示の看板を作成、設置した。 ・犬のリードを外している、フンを拾わないなどマナーが悪い→ドッグランボランティアより呼びかけをしてもらい園内全域放送により注意喚起を行った。 ・アルウインの芝生養生期間である3月にJリーグを開催したい→長野県と協議し、開催した。
--

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ●協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた年間維持管理計画に沿って管理運営を実施したほか、必要に応じて県と打合せの上、計画を見直し、臨機応変な対応を行った。 ●接客・マナー研修等内部講習会を定期的に行うと共にスタジアム研修会などの外部への研修へも積極的に参加することで管理運営スキルの向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を実施したと認められる。また、事故等の事態急変に際しても、利用者の安全を第一に、迅速、適切に対応したと認められる。 ・施設管理者として、高い意識を持ち、多くの研修会に参加しており、管理運営能力の向上に加え、丁寧な接客を心掛けていると認められる。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の平等・公平な利用のため、利用調整会議を実施した。 ●H27年度利用分の一般受付を事前にHP等で告知の上、3月2日から開始した。 ●アルウインの芝生の無料開放イベントを県と協働して行い、普段なかなか利用できない芝生を一般開放した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体を対象に、2日間に渡る利用者調整会議を開催する等、年間を通じ、平等な利用の確保を実現した。 ・個人等の平等な利用の確保についても、受付開始前にホームページ等による事前周知を行っており、実現に努めていると認められる。 ・アルウイン無料開放イベントは、一般の方が普段入ることができないプロスポーツ等で使われるピッチ、施設を開放し、県有施設、公園全体を知っていただける機会となった。 	A
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページのブログのほぼ毎日更新やアルウインの芝生状況、花の開花状況の随時掲載など、公園の状況をリアルタイムに発信した。 ●施設特性をPRするなど地道な営業の結果、会議室稼働率をあげることができた。(昨年比120%UP) ●施設見学はできる限り受け入れて、公園の魅力を広く認識してもらった。(年間1,160人受け入れ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園ブログを頻繁に更新する等、ホームページを活用し、四季折々の公園の魅力、情報、施設、イベント等をリアルタイムに発信することにより、より多くの利用者が訪れ、楽しめるよう工夫されており、サービスの向上に努めたと認められる。 ・会議室の利用を促進するため、企業訪問等営業を行い、また、清潔な会議室を提供することは勿論のこと、室温管理にも気を配り、利用者へのサービス向上を図り、大幅に稼働率を上げることができた。 ・教育機関等の施設見学を積極的に受入れ、公園の魅力を丁寧に説明し、訪問者に満足してもらえるよう取組んだ。 	B
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ●長野高専とコラボし、スカイパーク科学館を開催。20のテーマで科学体験プログラムを実施し、人気のプログラムは整理券が5分でなくなる程盛況だった。 ●春のランニングイベントを開催し、昨年同様県内外から2,000名を超える参加者があった。好天の中、公園全体を利用してもらい好評を得た。 ●総合型地域スポーツクラブ「sklpまつもと」はソフトテニス、サッカー等の教室を多角的に行った他、チャダンス教室を新たに開講するなど幅広い年齢層に向けて開拓を図った。(sklpによる会議室等利用件数3%増) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイパーク科学館、春のランニングフェスティバル、総合型地域スポーツクラブ、アルウイン無料開放等、40以上の事業を企画し、年間延べ2万1千人余りの参加を見た。魅力ある自主事業をとおり、公園の利用者増、知名度向上に貢献したと考えられる。 ・ジョギング、サイクリングで利用されている周回路に「信州スカイロード10(てん)」と名称を冠した「周回10kmコース名称募集事業」は多くの方々から公園への関心を寄せただけで、今後、公園の利用者増に貢献するものと考えられる。 	A

(様式2)

職員・管理体制	<p>常勤職員:30名、非常勤職員:4名、計34名 ●仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行なった。 ●ネットワークの強靱化を行い、安心・安全な公園を図ることができた。 ●運営本部による支援体制を確立し、円滑な管理を遂行できた。</p>	<p>・日常の業務管理として職員を適正に配置するとともに、イベント等混雑時は、対象施設へ重点的に職員を配置した。 ・カメラ、無線によるネットワークの強靱化を行い、運営本部による支援体制のもと、施設管理、電気、清掃等の複数の専門分野からなる組織の特徴を生かし、迅速かつ適切な公園管理を行い、安心・安全な公園を確保したと認められる。</p>	B
収支状況	<p>●本業と自主事業の収入合計507,223千円に対し支出金額493,088千円で14,135千円の収支差額であった。 ●ターミナルゾーン外灯のLED化を進めると共に漏水箇所の調査修繕など、高騰する光熱水費の節減に努めた。 ●提案書人件費予算85,190千円に対し、H26年度実績81,465千円(増減の理由:巡回・清掃業務の委託化、人事異動による若手職員の採用等)</p>	<p>・有料施設利用者数82万3千人と昨年より3万4千人増となり、収支は、魅力ある自主事業と合わせ、1千4百万円余りの黒字となった。 ・漏水箇所や照明のLED化に際しては、スタッフが自ら調査・修繕を行い、修繕コストを縮減しながら、光熱水費節減に努めた。 ・巡回・清掃業務の委託化、若手職員の採用等により人件費を削減することができた。</p>	B
総合評価	<p>●仕様書等に基づいて計画に沿った管理運営を行うことができた。 ●利用者からの声に耳を傾け素早く対応し、利用者の立場に立った管理運営を行った。 ●Jリーグ等の大型イベント時も適切に対応し、一年を通して大きな事故なく安心・安全な公園を実現した。</p>	<p>・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を適切に行い、植栽や施設的美観が細かいところまで確保され、快適な公園空間を提供しており、魅力ある自主事業と合わせて、日々、多くの方々に公園を訪れていただいた。 ・日常の巡回/パトロール等を通じ、安心・安全な公園を実現することができた。 ・利用者満足度調査のため公園内に設置した目安箱(いいい放題)や自主事業イベント参加者への各種アンケートに寄せられる意見、要望に真摯に向き合い、利用者の立場に立った公園管理を行った。 ・イベントの運営に際し、主催者側と綿密な打合せを行い、やまびこドームやアルウィンの人1万人を超える各種イベントにも適切な対応ができたと認められる。</p>	A

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<p>●大型イベント等による公園利用者の増加に伴い増大する各種要望について指定管理者としての対応。 ●各施設における長寿命化についての把握と修繕等(延命処置)の検討。 ●公園利用者人数と利用料金等収入の安定的な確保と対応策の検討。</p>	<p>・広域公園として、多くの方々が利用する空間と施設を有する県民の貴重な財産であるため、各施設の長寿命化を図りながら、今後とも安心・安全な公園を保持する。 ・集客力のある大型イベントの増加に伴い、様々な要望が寄せられるが、イベント主催者が行うべきことと、公園管理者が行うべきことを整理し、訪れる人の安全を確保するとともに、満足度を向上させていく姿勢が必要である。 ・公園の利用促進につながる新規イベントの誘致、魅力的な自主事業の開催、公園ホームページ、パンフレットによるPR活動、アンケート等に現れる利用者の声を参考とし、ニーズに則した公園を実現し、今まで以上の利用拡大につながるよう取組みが必要である。</p>